

事前委員意見照会
ご意見・ご提案への対応

■構想案に係る事前委員意見照会におけるご意見・ご提案

ご意見・ご提案	頁	対応
①（目次を）策定の「背景」と「基本構想の概要」に分けたらどうでしょうか？	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の第2期構想の策定は、第1期構想から第2期構想へ引き継がれた中間見直しであり、目次構成を抜本変更することは構想の一貫性が欠落してしまうことから、目次構成は変更しない旨、ご了承下さい。 ・ なお、基本理念、将来像、基本方針、個別事業の構成が複雑であるとのこと指摘を踏まえ、「2-6. 駅周辺地区の再生に向けた構想の枠組み」を追加し、基本理念、将来像、基本方針、個別事業の関係を模式的に示し、説明を追加しました。
②「多極型のコンパクトなまちづくり」はイメージだけではわかりにくいので、言葉でも簡単に説明した方が良いと思います。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘を踏まえ、当該頁に、本市がめざす「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の説明を文中脚注に追記しました。
③「中心市街地の再生」「多極型のコンパクトなまちづくり」の中で「駅前」に、何を期待するのか、なぜ期待するのか、少し考え方を整理し、記載したほうが良いと思います。P3の「20年先の町の将来や方向性」に関連してくると思います。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘を踏まえ、「1-2 目的」において、駅周辺の位置付けと再生の必要性について追記しました。
④「駅周辺を中心とした区域」の理由、考え方の記載が必要だと思います。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘を踏まえ、当該頁に区域設定の考え方を追記しました。
⑤「20年先の町の将来性や方向性を見据えながら」（当初案に記載）は、どのようなものを描かれているのでしょうか？	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の表現における「20年先を見据えた」とは、構想期間の10年で本構想に係る取り組みを完結させず、社会状況の変化やまちの方向性を見据えて、次の10年(20年先)に向けた見直し・更新を行った上で、取り組みを展開・継続させてゆくという趣旨です。 ・ 近年でも自然災害の激甚化や、新型コロナ危機など、これまでに予測不可能であった事態が頻発しており、今現在から20年先のまちそのものを見据えることは困難であると考えますが、だからこそ、今後の社会の変化等に対して柔軟に対応しながら取り組みを進めていくべきものと考えています。 ・ ご指摘を踏まえ、上記趣旨を追記しました。

ご意見・ご提案	頁	対 応
⑥「基本構想の位置づけ」で各計画と「因幡・但馬麒麟のまち連携中核都市」「多極型のコンパクトなまちづくり」との関係はどうなっているのか、整理し記載したほうが分かりやすいと思います。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、基本構想の位置付けを整理するため、本市の関連計画における駅周辺の位置づけを整理し、これらの関連計画を踏まえて基本構想を策定する旨を追記しました。
⑦表1の「基礎調査結果」は何かを導くための表でしょうか？	5	<ul style="list-style-type: none"> ・表1「基礎調査結果」の内容を総括し、P.4の「2-1 駅周辺地区をとりまく状況」として整理しており、表1の結果を踏まえ、「駅周辺では歩行者等の回遊性の向上や公共交通の充実、ターミナル機能の充実が求められる」旨を記述しています。
⑧P6の第1期の関連プロジェクトにも関連しますが、ここに記載した意味をご教示ください。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、基礎調査結果の詳細を「資料編」として、別添しました。
⑨表の目的が、第1期構想の検証と第2期構想への反映であれば、現状・分析・課題・対応も記載する必要がありますか？	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本構想においては、表1及び「2-1 駅周辺地区をとりまく状況」で、駅周辺の「現状・分析」、「課題」について整理した上で、その対応策を検討する視座としての「基本理念」を示し、その具体的な将来のまちのイメージとして「めざすべき将来像」を示したうえで、「基本方針」及び「個別事業の考え方」を整理しています。 ・上記のとおり、本構想全体を通して、「現状・分析」、「課題」、「対応」が整理されている旨をご承知ください。
⑩第1期の「便利で安心、住み続けたいと思える快適な生活空間」の「商業空間再整備を伴う共同建替えや修繕などの促進」は、コンパクトシティの実現のために重要な視点だと思います。この視点に「居住」も加え、「居住・商業空間再整備の共同建替え等の促進」をP5の方向性に記載してはどうでしょうか？	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本構想の対象区域は、中活計画の区域に対して駅周辺にエリアを絞り込んでいますが、これは、第2回委員会でも「めざすべき将来像」の検討においてお示ししたとおり、駅周辺の交通機能と商業機能の充実・強化をより重視したものであり、「居住」の視点に関する具体的な検討は中活計画に譲るものと考えています。

ご意見・ご提案	頁	対 応
⑪ 2-3の関連プロジェクトは、完了したもの、進捗中、未着工（Ⅱ期への繰り越し）、中止等わかりやすくしたほうが良いと思います。未着工・中止があれば、その理由も記載してほしいと思います。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・当該表中の「実現に向けて検討中」と示した事業については、事業内容や位置づけ等を現状や課題に沿う形に修正したうえで第2期構想に引き継いでいます。 ・一方で、未着工及び中止となった事業については、第2期構想に引き継がないものであり、かつその理由や経緯はさまざまに説明が冗長になってしまうことから、本構想においてその理由等を記載することは差し控えたいと考えています。
⑫ 「国による関連施策」の「ウォークブル」や「新型コロナを契機としたまちづくり」について、どう評価しこの構想に取り入れてゆくのか、考えを説明した方が良いと思います。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「2-5 駅周辺再生の必要性」において、ウォークブル推進や新型コロナ危機を契機とした社会状況の変化への対応の必要性・考え方を追記しました。
⑬ 「生活面の重視」とはどのようなものでしょうか？	9	<ul style="list-style-type: none"> ・当該「生活面の重視」とは、「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（R2.6.21内閣府）」において、感染症拡大前に比べ、仕事よりも自身や家族との生活をより重視するようになったという市民意識の変化のことを表現しています。
⑭ 駅周辺地区の再生の必要性の下表は、現状→分析→課題→対応でまとめたほうが良いと思います。P5の表1と重複すると思います。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、図7を、「現状・分析」を踏まえた「課題」という検討の流れが分かりやすいよう修正しました。なお、「対応」については⑨のとおり、基本理念以降で後述するためここでは記載しないこととします。
⑮ 対応の中に、街中居住（職住近接）、共同建替（土地の集約・高度利用の促進）も記載してほしいと思います。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・⑩の対応のとおり。
⑯ 基本理念は、20年後のまちづくりの将来や方向性を考える上で、またその将来像を実現するためのプロセスを支える基本的な考え方・姿勢になるものだと思います。「連携中枢都市圏」「多極型コンパクトなまちづくり」「中心市街地活性化」「ウォークブル」「スマートシティ」などから基本的な考え方、取り組み姿勢などを記載する必要があると思います。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、基本理念を提示するにあたっては、第1期構想を継承しつつ、ウォークブル推進や新型コロナ危機等の新たな動きを踏まえた上で、社会状況の変化に対応するため新たに「実現に向けた視点」を設けた旨を追記しました。
⑰ 「回遊性と滞留性を持たせた人が行き交う多層交流結節ゾーンの形成」「～居心地が良く歩きたくなるまち～」は上下逆が良いと思います。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・①のとおり、今回の第2期構想の策定は、第1期構想から第2期構想へ引き継がれた中間見直しであることから、第1期構想の構成を継承したものです。

ご意見・ご提案	頁	対 応
<p>⑱ ③と④が分かりにくいと思います。「駅周辺の回遊」「歩行空間の魅力向上」「歩行者優先の空間」等々</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共交通の利便性向上」にバスターミナルを加え→「バスターミナルなどの公共交通の利便性向上」にしてはどうでしょうか？利便性向上、機能拡充なら「整備」ハードに限らないということになると思いますが。 	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の事項については、策定委員会における議論の中で、現状を踏まえると「バスターミナル」の表現は控えるべきとご意見を多く頂いたことから、本構想には当該表現は差し控えることとしています。
<p>⑲「姿を表したものであり、実施計画や事業を決定・拘束するものではなく、取り組みの」は「姿、取り組みの方向性を示すものです。具体的な事業は、鳥取駅周辺再生基本計画での検討となります。」としたほうが印象的に良いのではないのでしょうか。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ修正しました。
<p>⑳第1期に比べて区域を絞ったという経緯がありますので、区域内全体をキチンと見渡している、ということで、基本構想内でしっかり伝わるとよいと思います。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・区域については、「1-3 第2期構想の区域」の中で、「広域的に検討が必要な課題については、この範囲外も対象とします」としており、今回の区域設定が、今後のご指摘の施設等についての検討を妨げるものではありません。 ・また、本構想に掲載している個別事業案等は、現時点で想定される事業の案であり、今後行う事業の全体を示したものではありません。今後の具体的な事業検討は、鳥取駅周辺再生基本計画等に引継ぎ、検討や合意形成を進めるうえでは社会状況等も踏まえながら、事業の対象や内容について柔軟に検討していくことを想定しています。
<p>㉑上記から考えると、駅南側はもっと縮小し、駅北側をもっと拡大するほうが肌感覚には合うように思います。</p>	20	

ご意見・ご提案	頁	対 応
<p>②個別事業に、具体的な固有名詞として唯一「風紋広場」が2回も登場することに違和感を覚えます。オープンスペースは区域内でも、駅北には風紋広場、ケヤキ広場、バードハット、駅南には駅南広場、市役所広場などなどある中でのこの記載は、基本構想という大きな枠組みにも関わらず、不自然な偏りを感じます。もう少しふんわりとオープンスペースと表記すると、区域内のオープンスペースを満遍なく視野に入れていることを上手に表現するほうが良いのではないのでしょうか。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、取り組みを風紋広場等に限定するものではありません。 ・ご指摘を踏まえ、個別事業①の先導事業については「オープンスペースと一体的に利用できる収益施設の設置支援」に表現を修正しました。

ご意見・ご提案	頁	対 応
<p>⑳第3回委員会で述べた通り、鳥取民藝美術館および関連施設並びに民藝館通りは、中心市街地鳥取駅周辺にあって唯一の文化観光資源であり、近年の民藝ブームとも相まって鳥取民藝美術館等も若年層が増加傾向にあり、コロナ禍直前までインバウンド観光はたくみ割烹店において来店者数の約4割に及んでいる。またJR西日本の豪華寝台列車「瑞風」の立ち寄り観光先ともなっており、「民藝館通りの活性化」は鳥取駅前周辺にとって特色ある重要なスポットとなっている。また、第3期鳥取市中心市街地活性化基本計画において、「3-[3]の「目標達成に向けた取り組み」として「鳥取駅前周辺地区」において「民藝観光推進ゾーン【民藝館通り周辺】」(P.63)と明確に位置付けられている。加えて令和2年12月8日市議会本会議(12月定例会一般質問)において上杉議員の質問に対しても「(旧吉田医院は)貴重な地域資源の一つであると考えます。」と位置付け、「本市としては、仮に本医院を観光文化的に保存活用するにあたっては民間主導を基本とし鳥取民藝美術館なども含めた通称民藝館通り一帯として活性化をも目指すことが肝要であるとの認識であり・・・」と答弁されている。このことから鳥取駅前周辺再生基本構想においては「民藝観光推進ゾーンの活性化」及び「旧吉田医院の保存活用」を位置付けて頂きたい。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会におけるご意見等を踏まえ、鳥取民藝や旧吉田医院等を含めた地域資源の活用については、基本方針①「来訪目的になる施設・機能の付加」の中で「地域資源の活用(文化・観光など)」として事業検討していくことを想定しています。 ・ただし、具体的な事業対象施設や事業内容等の検討は、ご意見を参考に、鳥取駅前周辺再生基本計画等に引継ぎ、検討していくことを想定しています。

ご意見・ご提案	頁	対 応
<p>②④ 中心市街地活性化基本計画やマスタープランなど市のまちづくりに係る上位の計画の体系の中で、駅周辺の交通の役割や機能を考えていくべきではないか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、本市の関連計画における駅周辺の位置づけを整理しています。 ・本構想は、本市の関連計画を踏まえて策定しています。ご指摘の駅周辺の交通の役割や機能については、基本方針③「空間の連続性・快適性・楽しさの創造」を踏まえ、別途検討していくことを想定しています。